

18歳意識調査 「第9回 - 国の借金 -」詳細版

日本財団 2019年2月14日

目次

調査概要	3
国と地方自治体の借金額 認知	5
借金を前提とした予算案への賛否	6
借金を前提とした予算案への賛否 理由	7
「国と地方自治体の借金」の理由について	8
国と地方自治体の借金を誰が負うべきか	9
国と地方自治体の借金を誰が負うべきか 理由	10
財政状況を見て、日本の将来に不安を感じるか	11
財政状況を見て、日本の将来に不安を感じるか 理由	12
日本の財政を立て直すために求められる対策	13
日本の財政を立て直すために求められる対策 理由	14

調査概要「18歳意識調査」 - 国の借金 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	133	133	134	400
女性	133	133	134	400
計	266	266	268	800

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年1月17日（木）～ 1月20日（日）

調査手法 インターネット調査

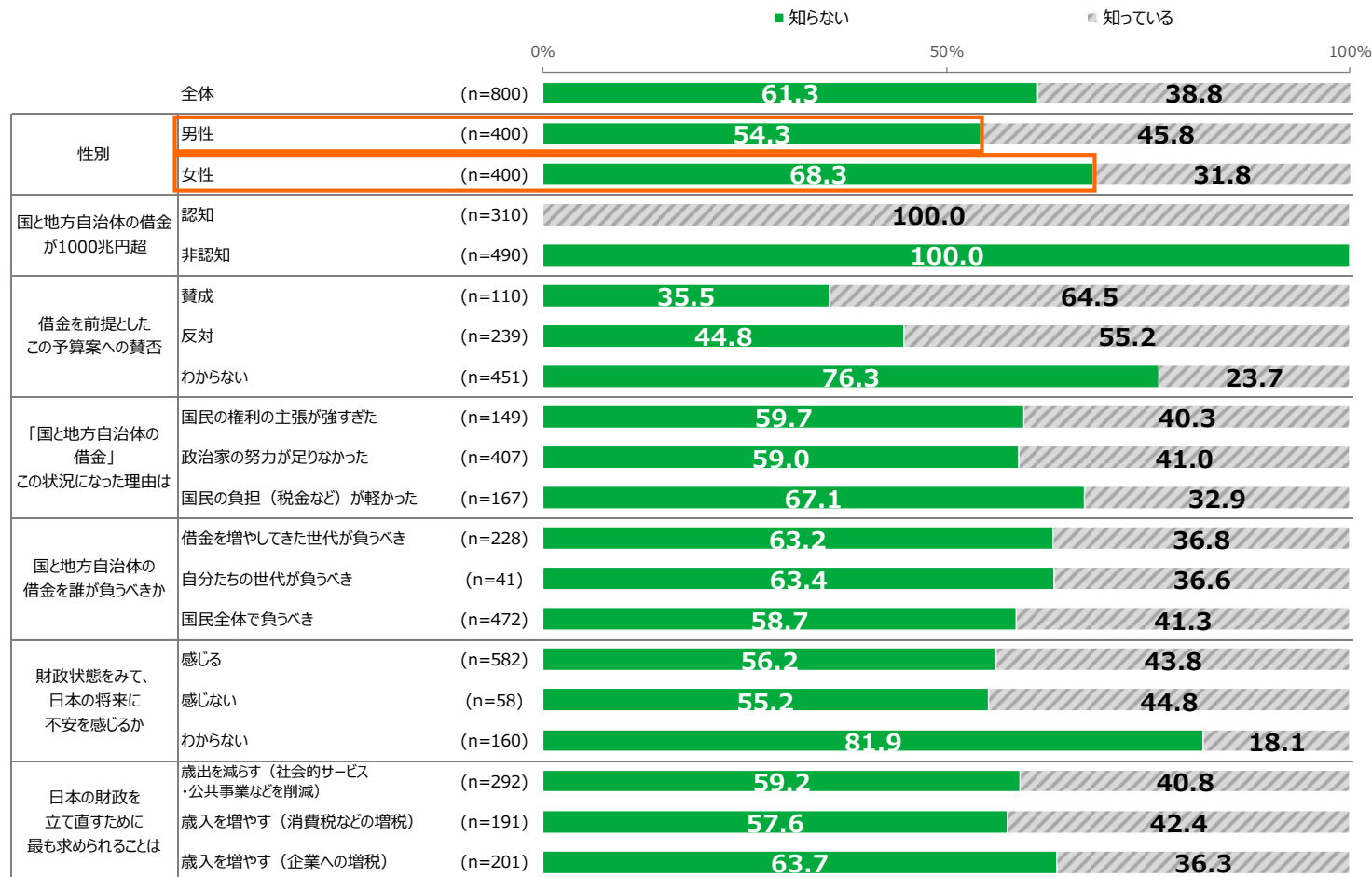
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

詳細

国と地方自治体の借金額 認知

- 国と地方自治体の借金が1000兆円を超えていることについて、61.3%が知らないと回答。
- 女性は「知らない」が68.3%と、男性に比べて認知率が低い。

Q1 国と地方自治体の借金が1000兆円の台を超えています、そのことを知っていますか？



借金を前提とした予算案への賛否

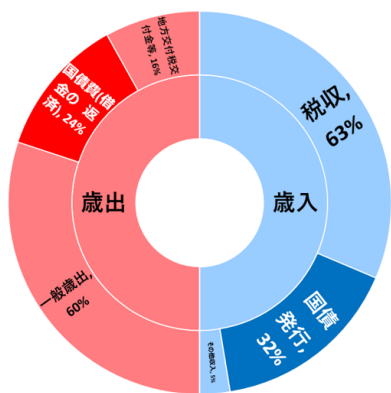
- 借金を前提とした予算案について、「反対」が29.9%となっており、「賛成」13.8%を上回る。
- 過半数の56.4%の人は「わからない」と回答。
- 国と地方自治体の借金額を認知していた層は、「わからない」が34.5%と全体に比べ低く、「反対」が42.6%、「賛成」が22.9%という結果であった。

Q2 以下の図は平成31年度（2019年度）の国の予算案です。

歳入の3分の1は借金（図中の歳入 = 国債発行※グラフ濃い青部分）でまかない、歳出の4分の1は借金の返済（図中の歳出 = 国債費※グラフ濃い赤部分）にあてるという内容になっています。

あなたは借金を前提としたこの予算案をどう思いますか。

平成31年度一般会計予算案



		0%	50%	100%
		■ 反対	■ 賛成	■ わからない
全体	(n=800)	29.9	13.8	56.4
性別	男性 (n=400)	32.0	18.0	50.0
	女性 (n=400)	27.8	9.5	62.8
国と地方自治体の借金が1000兆円超	認知 (n=310)	42.6	22.9	34.5
	非認知 (n=490)	21.8	8.0	70.2
借金を前提としたこの予算案への賛否	賛成 (n=110)		100.0	
	反対 (n=239)		100.0	
	わからない (n=451)			100.0
「国と地方自治体の借金」この状況になった理由は	国民の権利の主張が強すぎた (n=149)	26.2	18.8	55.0
	政治家の努力が足りなかった (n=407)	31.7	13.5	54.8
	国民の負担（税金など）が軽かった (n=167)	26.9	11.4	61.7
国と地方自治体の借金を誰が負うべきか	借金を増やしてきた世代が負うべき (n=228)	29.8	12.3	57.9
	自分たちの世代が負うべき (n=41)	24.4	12.2	63.4
	国民全体で負うべき (n=472)	30.5	15.5	54.0
財政状態をみて、日本の将来に不安を感じるか	感じる (n=582)	36.8	13.9	49.3
	感じない (n=58)	17.2	34.5	48.3
	わからない (n=160)	9.4	5.6	85.0
日本の財政を立て直すために最も求められることは	歳出を減らす（社会的サービス・公共事業などを削減） (n=292)	32.2	12.3	55.5
	歳入を増やす（消費税などの増税） (n=191)	30.4	16.2	53.4
	歳入を増やす（企業への増税） (n=201)	27.9	17.4	54.7

借金を前提とした予算案への賛否 理由

- 「反対」の理由としては、返済する額の方が国債発行額より少ないことについて「このままでは財政破綻してしまう」「国債が増える一方」という意見が目立った。また、「無駄にお金を使っている」「借金をしてまで公共サービスを過剰にする必要はない」などの意見もあがった。
- 「賛成」の理由としては、借金を前提とした予算編成は良くないと思っているものの、経済が回っていくためには「やむを得ない」「仕方ない」という声が目立った。また、「日本の借金は国民に対しての借金で、外国に借金しているギリシャ等とは違う」という回答もあった。
- 「わからない」では、「初めて知った」など、関心の薄さをうかがわせる回答が目立った。「借金がないと国が回っていかないことは確かなので、どちらがいいのか一概には言えない」という意見もあった。

Q3 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。
(自由回答抜粋)

「反対」自由回答抜粋

- このバランスだと国債が増え続け、返済しきれなくなると思うから。(女性)
- そんなことでは日本は財政破綻してしまうから。(女性)
- 既に多くの借金を抱えながらさらに借金をすることを前提としていることに違和感を感じる。また、新たに作る借金よりも返済のための歳入の方が少ない理由がわからない。(女性)
- 後の世代に負担を回しているだけで国債を返済するという根本的な問題を解決する姿勢が見られない。(女性)
- 国債の返済費より発行費の割合の方が多くなっている予算案なんてそもそもおかしい。国債が増える一方なのが目に見える。(男性)
- 私たち若者が背負っていく責任を無責任に増やしている。使わなくてよいところにも無駄にお金を使っている部分が大きいせいで、借金を頼る状況になっているのではないかと思う。(女性)
- 借金で借金を返す自転車式になっているところが、借りる金額の方が返す金額より大きく、借金を年々増やす悪循環となっている。(女性)
- 借金の返済より借りる方が多く、借金が増える一方だから。そもそも、借金をして借金を返済するのはおかしい。(男性)
- 借金をしてまで公共サービスを過剰にする必要はないと思うから。(女性)
- 借金を作ることに反対をしたわけではなく、返せない額の借金が多すぎるため反対意見にした。見積も額が低すぎる。(女性)
- 政治家が給料を取りすぎて、うまく歳出に使われていない気がするから。(男性)
- 税金だけでは歳出をまかなうことができず、新たな借金ができてしまうから。国債発行をもっと減らし、税金を増やすべきだと思う。(女性)
- 返済しているものほとんど借金は増えている。今、政治を仕切っている人たちは将来を考えなくていいが私たちが国を動かす時に多量の借金を抱えていくのは辛い。もっと未来の人たちを考えて欲しい。(女性)

「賛成」自由回答抜粋

- 最早、国債や地方債を全額返済することはできないため、お金の価値が変わらない程度であれば税金よりも借金で賄った方が日本経済が回る。(男性)
- 借金はどんどん増える一方で、良くないと思うが、国民の生活を不自由なく、暮らしていくためには、仕方ないと思ったから。(女性)
- 借金は減らしていくべきだとは思いますが、完全に無くすのは現状厳しいと考えられるから。(女性)
- 借金を前提にしても国のお金をやりくりできているのであれば良いと思う。(男性)
- 多少の国債発行やむを得ない。(女性)
- 日本の借金は国民に対しての借金で、外国に借金しているギリシャ等とは違うという話を聞いたことがあるから。(男性)

「わからない」自由回答抜粋

- あまり関心なく難しい。(女性)
- 興味がないし前提知識もない。(男性)
- 深く知らないので、安易に賛成も反対もできない。(女性)
- 初めて知ったから。(女性)
- そのメリット、デメリットをよく知らないから。(男性)
- わからないが、そうしなければならぬ状況なのだと思う。(男性)
- 国の借金又はお金の出入りは気にはなるが、理解ができていないため。(女性)
- 自分たちは背負いたくないが今の生活も大事だから。(男性)
- 借金がない方が良いことはわかるけど、借金がないと国が回っていかないことは確かなので、どちらがいいのか一概には言えないから。(女性)
- 日本はたくさんの借金があるが、海外から借りているものはわずかで、逆に海外に多くの資産を持っているため実はお金を持っていて、十分借金を返済できる資産を持っている。しかし、借金がないに越したことはないので自分にはこれがあるが間違っているかは正直わからない。(男性)
- 良い面も悪い面もあり、どちらか答えることはできないから。(女性)

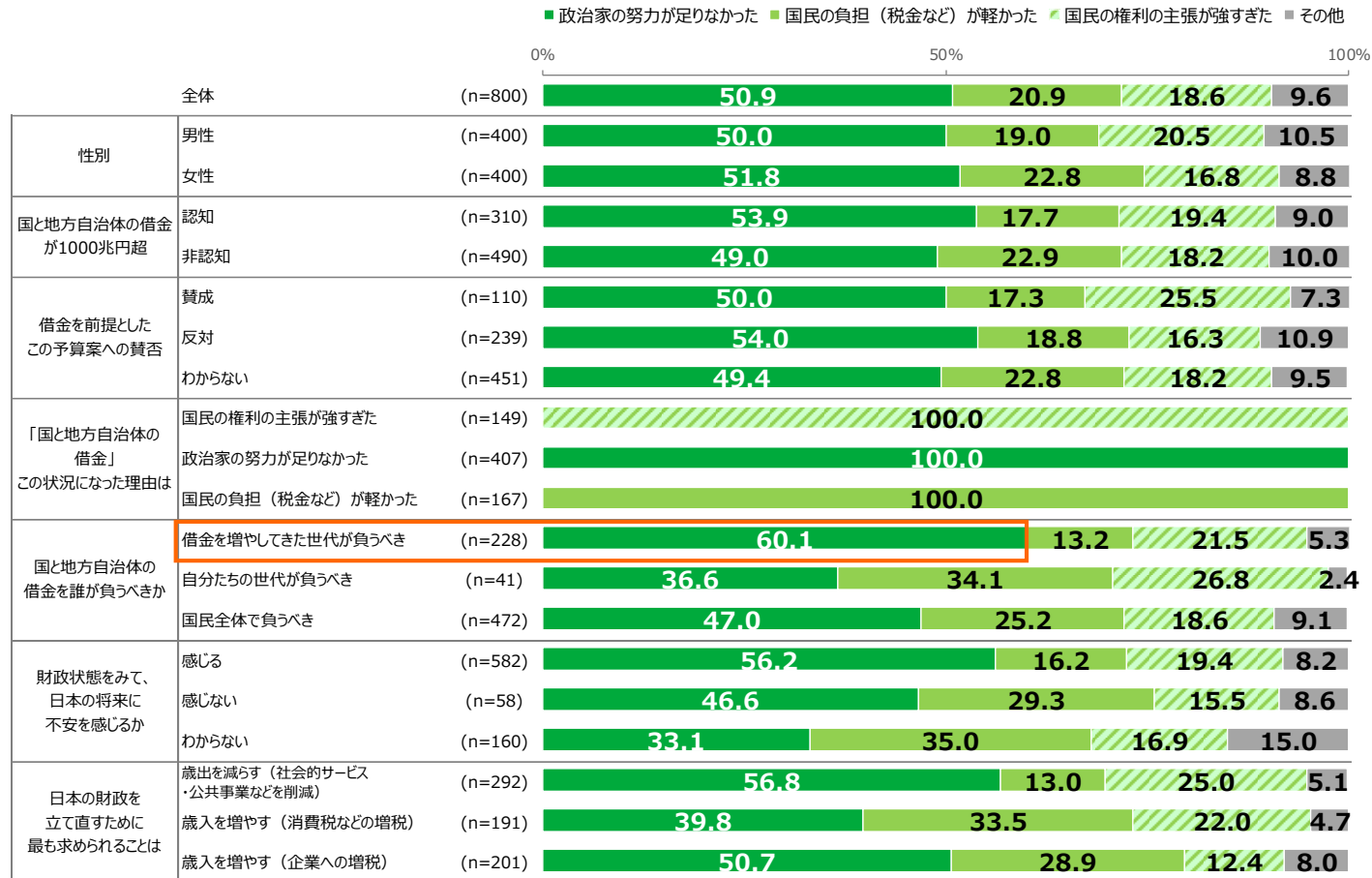
【借金を前提とした予算案への賛否理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

「国と地方自治体の借金」の理由について

- 全体の50.9%が「政治家の努力が足りなかった」と回答。
- 借金について「借金を増やしてきた世代が負うべき」と回答した層は、「政治家の努力が足りなかった」がさらに多く、60.1%。

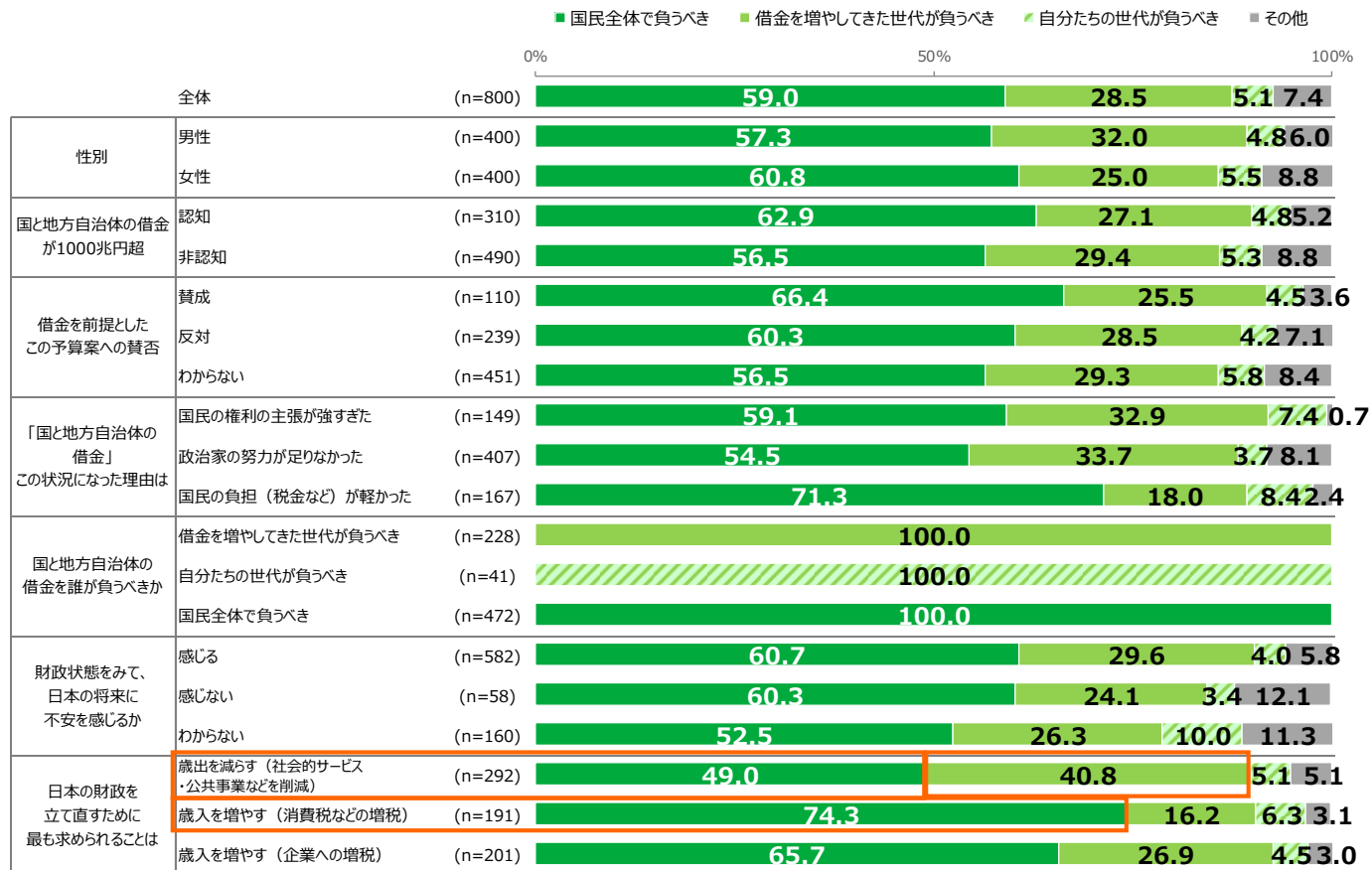
Q4 どうしてこのような状況になったと思いますか？ 最もあてはまるものをお答えください。



国と地方自治体の借金を誰が負うべきか

- 「国民全体で負うべき」が最も多く、59.0%。「借金を増やしてきた世代が負うべき」は28.5%。
- 日本の財政を立て直すために「歳出を減らす」と回答した層は、借金は「国民全体で負うべき」が49.0%と全体に比べ少なく、「借金を増やしてきた世代が負うべき」が40.8%と多い。また、「歳入を増やす（消費税などの増税）」と回答した層は、74.3%が借金は「国民全体で負うべき」と回答した。

Q5 国と地方自治体の借金を誰が負うべきと思いますか？



国と地方自治体の借金を誰が負うべきか 理由

- 「国民全体で負うべき」の理由としては、「恩恵を受けているのは国民全体」「誰かが悪いとかではなく日本全体の問題」「一部だけに負担がかかるのはおかしい」「日本に住んでいる以上、責任は国民全体」など、世代を越えた国民全体の問題、とする意見が多い。また、「今や国民全体が負担しないと完済出来ない」「全員が払えば1人1人の負担も減り、早く集まる」という意見も見られた。
- 「借金を増やしてきた世代が負うべき」の理由は、「その世代がきちんと責任を負うべき」「なぜ関係ない世代が負うべきなのか」「得をした人達が払ってほしい」など。
- 「その他」の回答としては、「国会議員」や「政府」、「高額納税者」が負うべき、という意見が見られた。

Q6 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。
(自由回答抜粋)

「国民全体で負うべき」自由回答抜粋

- 1人あたりの金額を少額にするため (女性)
- 全員の方が早く借金を返せるから (男性)
- そのお金を使って恩恵を受けているのは国民全員だから (女性)
- 皆どこかで国の福祉を受けて来たはずだから、払うのは一部では無く、日本で暮らしている国民民だと思ったから。(男性)
- その世代じゃなくてみんなの問題だと思っから。(女性)
- 誰が悪いとかでは無く日本全体の問題であるから。(女性)
- どこかの世代一つで負いきれるとは思えないから (女性)
- とにかく借金を返すことを優先させた方がいいと思う。(女性)
- 一部の人が払うのはおかしいと思うし、国民全員が払えば1人1人の負担も減り、早く集まるから。(女性)
- 国の問題だから全体で解決すべき。一部だけに負担がかかるのは違うと思う。(女性)
- 国や地方自治体を動かす政治家も国の一員である。また、その政治家を選んだのは選挙権を持っている国民である。よって、国民が皆で借金について考える必要があると思っから。(女性)
- 国民全体で解決していかなければ手に負えない額であるから (男性)
- 今や国民全体が負担しないと完済出来ないと思っから。(女性)
- 借金を増やしてきた世代が負うのは実際問題不可能だから私たちの世代も払わないといけないため。(女性)
- 昔の人が作った借金が日本が発展してきたとも言えるからそれは今の世の中を生きている人々が負うべきだと思っから (女性)
- 日本という国に住んでいる以上、責任は国民全員にあるはずだと考えるから (男性)
- 本当にどうにかしたいと思っのなら一部の世代に責任を押し付けるのではなく、世代に関係なく国民全体で負う方が現実的な解決法だと思っから (男性)

「自分たちの世代が負うべき」自由回答抜粋

- 過去の世代もそうやって負担していたから (男性)
- 借金を増やした世代はどこからどこまでか特定出来ないんで議論が起こるその人たちはもう高齢である。今働ける自分が負担するのが最も現実的である。(女性)
- 将来の世代の人まで負担をかける訳にはいかない (男性)

【国と地方自治体の借金を誰が負うべきか理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

「借金を増やしてきた世代が負うべき」自由回答抜粋

- あとから生まれてきた人は望んで借金を増やした訳では無いから。(男性)
- さんざんお金を使ってきた世代が得て若い世代がその借金を背負うという矛盾が生じるから。(男性)
- その世代がきちんと責任を持って担うべきであるから。(女性)
- ただでさえ少子化で苦勞する将来世代にもっとたくさんのお金を押し付けてはいけない。(男性)
- なぜ関係のない世代が負うべきなのか理解に苦しむ。(女性)
- 関係ない人を巻き込まないで欲しい。(男性)
- 借金してきた世代が年金で暮らすのは違うと思っから。(女性)
- 借金するだけしてほかの世代に返済を押し付けるのは違うと思っから。(女性)
- 借金を一時的にするのはしょうが無いがそれを消費した世代の国民ではなくもっと若い世代が負担するのは道理としておかしい。(男性)
- 借金を増やしたのは自分たちの世代でないで責任はない。(男性)
- 若い世代は年金すくなくかったり、もらえるかわからなかったり前の時代に比べて損してるので得をした人たちが払って欲しい。(男性)
- 少子高齢化で若者が少ないので高齢者も払うべきだ。(男性)
- 責任は借金を増やしてきた世代にあると思っから (男性)
- 未来ある若者の負担を増やさないとほしいから。また自分が借りたお金は自分で返すように、借金を増やしてきた世代がまずは責任を負うべき。(女性)

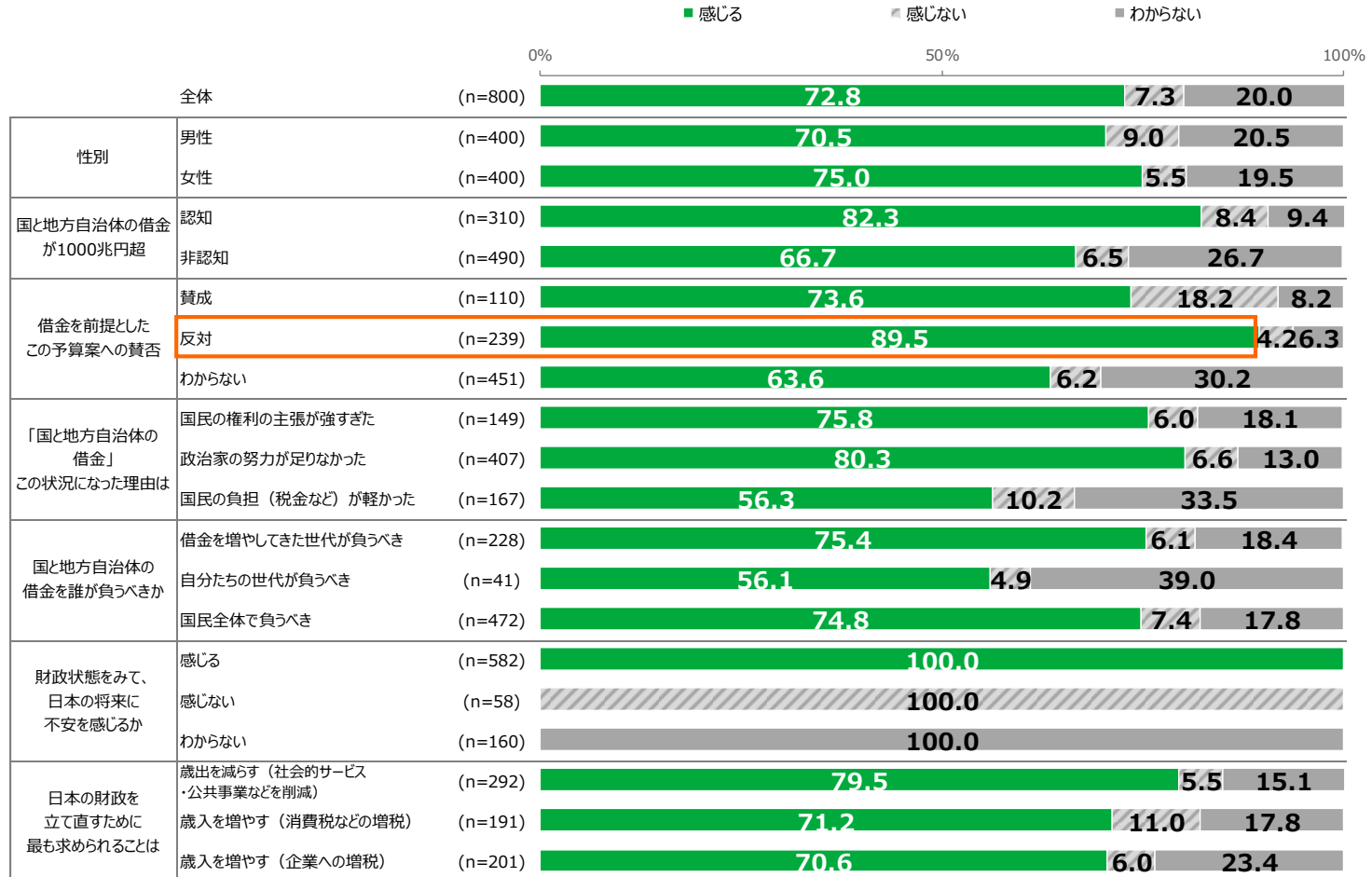
「その他」自由回答抜粋

- その他回答：議員 税金を自分たちの収入にしているから、少しでも収入を減らし、税金を国の借金を減らすように欲しいから。(女性)
- その他回答：高額納税者 高額納税者が税をもっと支払うべき。(女性)
- その他回答：国が何とかして、無駄 無駄遣いを減らして欲しいから。(女性)
- その他回答：政府が背負うべき 国や政府が作ったのであれば、政治家の給料を削ってでも返すべきだから (女性)

財政状況を見て、日本の将来に不安を感じるか

- 72.8%が日本の将来に「不安を感じる」と回答。「不安を感じない」は7.3%。
- 予算案に対して「反対」と回答した層は、特に「不安を感じる」が多く、89.5%。

Q7 このような財政状態をみて、日本の将来に不安を感じますか？あなたの考えに近いものを選択してください。



財政状況を見て、日本の将来に不安を感じるか 理由

- ・「不安を感じる」の理由としては、「このままでは経済破綻は免れない」「借金は増える一方」「少子高齢化、社会保障制度の崩壊、経済不安など問題が山積み」「少子高齢化で年金自体賄うのが大変」など、日本の借金や少子高齢化を不安視する声が目立った。またそのような状況に伴い、「税金が増えていく」「年金がもらえるのか」「何歳まで働かなければならないのか」など不安の声も。
- ・「不安を感じない」「わからない」の理由としては、「外国に借金をしているわけではない」という理由の他、「今までやってこれたから」「なんとかなる」「この先の経済のことはわからない」といった声が目立った。

Q8 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。（自由回答抜粋）

「不安を感じる」自由回答抜粋

- ・このままでは経済破綻は免れない。（男性）
- ・ここまで国の財政状況の悪化が進んでいるのに、借金の返済に借金をしているのに借金は増える一方。不安を感じない方がどうかと思う。（男性）
- ・このままだと国民の負担が増える一方だから。（男性）
- ・これからも借金は増え続けてどうなるか心配。（男性）
- ・経済以外でも様々な抱える問題を解決出来ないから。（女性）
- ・国債が多すぎるから。（女性）
- ・今現在苦しい生活環境であるから。（男性）
- ・自分が借金のツケを払われる世代であるため。（男性）
- ・借金が増え、外国との友好関係が心配だから。（女性）
- ・借金の返済は終わらないように思えるから。（女性）
- ・借金を本当に返せるのか。今の若い世代が高齢者になったとき、医療福祉がきちんと整備されているか、あまりあてにしてないけど年金はあるのか。（女性）
- ・少子高齢化、社会保障制度の崩壊、経済不安など問題が山積みだから。（女性）
- ・消費税増税や、借金問題などさまざまな問題が起きているから。（男性）
- ・少子高齢化が進む一方で税金がどんどん上がっているから。自分たちは何歳で定年退職できるのかわからない。（男性）
- ・少子高齢化で年金自体を賄うのが大変になってきている。（男性）
- ・これからどんどん税金が多くなっていき、若い世代の負担が昔の人よりも多くなる。それによってお金をみな使わず貯めようとするのでまた悪循環になっていく気がする。（男性）
- ・税金が増えていく一方。（男性）
- ・自分が老いたとき、年金がもらえるのか不安だから。（女性）
- ・増税されて、貧乏な人はとても苦しいし、私たち若者世代がいざ年を取ったときちゃんと年金がもらえるのかどうかも心配。（女性）
- ・日本には資源が枯渇しがちであり、外国からの輸入に頼っているので支出の面からこれからも借金が上がるから。（男性）
- ・日本は今でさえ借金だらけなので、この先、税金などを増やしていかなければ、よりよい国にはならないと思ったから。また、若い世代が政治に興味ないから。（女性）
- ・年金は支払われるのか、何歳まで働かなければならないのか不安ばかり。（女性）

「不安を感じない」自由回答抜粋

- ・あくまでこの借金は日本国内での公債がほとんどなため(外国への借金は少ない)、ギリシャのような国破綻にはならないと考える為。（男性）
- ・まだ外国に借金をしているわけではないため。（男性）
- ・このような事を目の前で言われれば心配にはなりますが、なんとかなりそうではあります。（男性）
- ・なんとかなる気がする。（女性）
- ・今までちゃんとやってこれていたから。（男性）

「わからない」自由回答抜粋

- ・あまり考えたことがないから。（女性）
- ・この先の経済の事はわからない。（男性）
- ・なんとかなりそうな気がする。（男性）
- ・今まで通りにいけば大丈夫そうだと思うから。（女性）
- ・実感がない。（女性）
- ・大変なこととは思って、今までどうにかやってきたから。（女性）
- ・日本の将来がどうなるか予想ができないし、知識もないから。（男性）

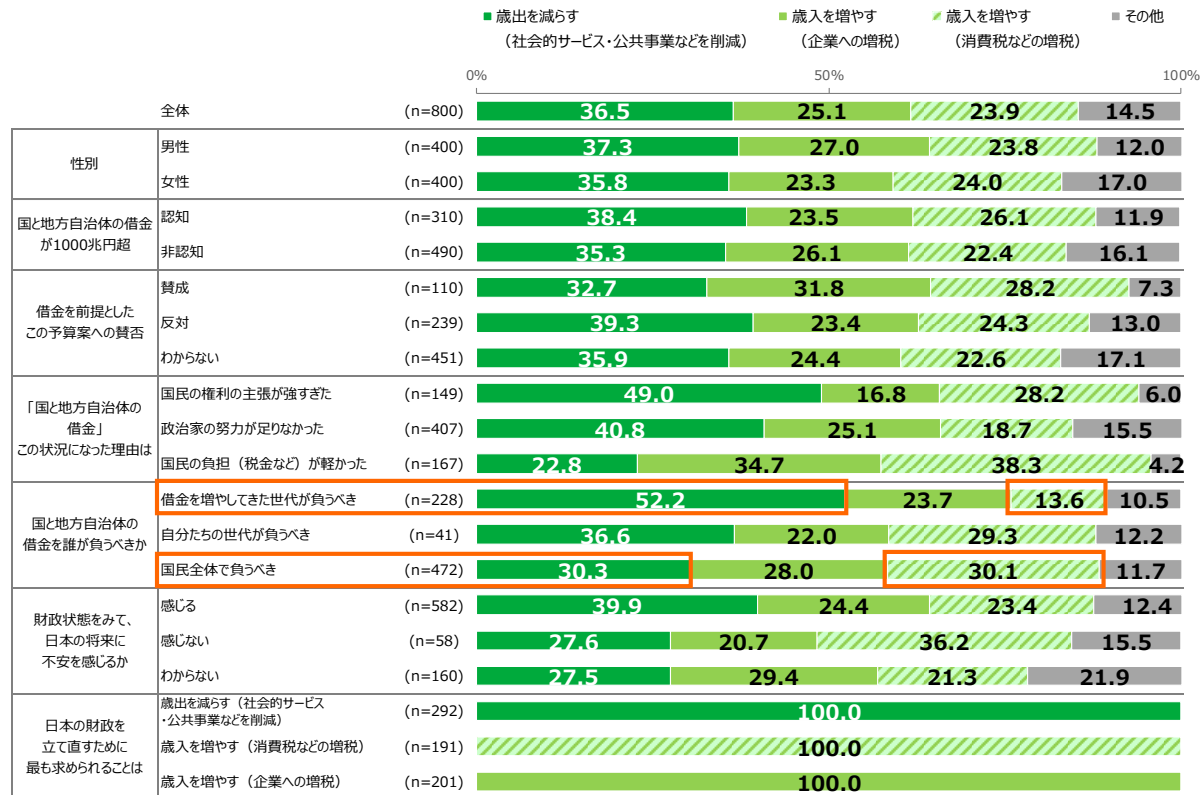
【財政状況を見て、日本の将来に不安を感じるか理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

日本の財政を立て直すために求められる対策

- 「歳出を減らす（社会的サービス・公共事業などを削減）」が36.5%。
- これに対し、「歳入を増やす」は49.0%。「歳入を増やす」の内訳は「企業への増税」が25.1%、「消費税などの増税」が23.9%となっている。
- 借金について「借金を増やしてきた世代が負うべき」と回答した層は、「歳出を減らす」が52.2%と全体に比べ多く、「歳入を増やす（消費税などの増税）」が13.6%と少ない。一方、借金は「国民全体で負うべき」と回答した層は、「歳出を減らす」が30.3%と全体に比べ少なく、「歳入を増やす（消費税などの増税）」が30.1%と多い。

Q9 日本の財政を立て直すために最も求められることは何でしょうか。あなたの考えに近いものを選択してください。



日本の財政を立て直すために求められる対策 理由

- ・「歳出を減らす」の理由としては、「公共サービスが手厚すぎる」「見直しのできる事業があるはず」「税金の無駄遣いをやめるべき」などの意見のほか、増税に対して「国民の負担になる」「景気悪化をもたらす」などの反対する意見も見られた。
- ・「歳入を増やす（増税）」の理由は、「公共サービスは減らすべきではない」「産業発展のためにも企業への増税はどうかと思う」という回答や、外国の高い消費税を例に挙げ、「日本はもう少し増税しても大丈夫」「高い税金で医療、福祉、教育に力を入れてほしい」という意見も。
- ・「歳入を増やす（企業への増税）」の理由としては、個人への増税への反対や歳出削減反対の意見の他、「企業への増税が（自分自身に）1番影響がない」など個人への影響をさける傾向がみられた。

Q10 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。（自由回答抜粋）

「歳出を減らす（社会的サービス・公共事業などを削減）」自由回答抜粋

- ・これ以上の増税は国民の日常生活に負担をかけており、企業への増税は回り回って国民の首を絞めるため、この中であれば公共事業を減らすことが良いのではと思う。（男性）
- ・とにかく無駄な工事が多すぎる。無駄な外郭団体が多すぎる。天下り、渡りは特に多い。（女性）
- ・まず医療費等に必要額や国の負担が多すぎると思われる。（男性）
- ・何に使われているか良く分からない金の理由をはっきりさせ出来るだけ減らすべきだと思う。（男性）
- ・見直しの出来る事業が沢山あるはずだから。（男性）
- ・公共サービスが手厚すぎる。（女性）
- ・増税は国民の負担になる。（女性）
- ・消費税10%に上がっただけでも、相当批判があったので、それならサービスを減らした方がよいと思う。また、日本はこんな経済状況なのにサービスをし過ぎだと思うから。（女性）
- ・消費税や法人税の引き上げは景気悪化をもたらす可能性があるから。（男性）
- ・消費税増税をすると、よりお金が回らなくなり、何の解決にもならないから。また、政治家の数を多く、給料も高いので、政治家の数を減らすべき。（男性）
- ・地方に行くに使われてない公共施設や利用者が少ない施設が多いから。（男性）
- ・少しでも税金の無駄遣いをやめるべき。（女性）

「歳入を増やす（消費税などの増税）」自由回答抜粋

- ・公共サービスは減らすべきでないと思う、産業発展のためにも企業への増税はどうかと思う。つまりは、消去法。（女性）
- ・外国ではそうやって税金を高くしてまわっているから。その高い税金で医療、福祉、教育に力を入れてほしい。（女性）
- ・歳出を減らすということは結果として国を成長を止めるということになりかねません。ですので税金を増やすのが最も良い考えだと思いますが、ではなぜ企業ではなく国民から徴収するべきかと思つたかについてですが、それは企業の法人税等を増税すると今ある日本の大企業を始めとした多々の企業が海外に拠点を移し、結果として経済が回らなくなりひいては国の衰退に繋がるのではないかと思つたからです。（男性）
- ・借金があることはもう仕方ないことだと捉え、その上で税金をあげて国民全員が払って少しずつ減らしていく。（女性）
- ・消費税を低く保つたままで、今の公共サービスを維持することは難しいと思うから。（男性）
- ・消費税増税が一番手っ取り早い。また北欧の方だと消費税率を上げることによって社会福祉を充実させている。このようにすれば良いと思う。（男性）
- ・税金が少ないのに医療などのサービスの質がよすぎる。（女性）
- ・他国と比べると日本の租税負担率は低く、もう少し増税しても大丈夫だと思つたから。（女性）

「歳入を増やす（企業への増税）」自由回答抜粋

- ・企業の保守的な内部留保をやめ、社員に還元すれば物価の上昇に追いつくから。（男性）
- ・企業への増税が、学生の私にとっては1番影響がないと考えたから。（女性）
- ・金を多く持つものが多く使って金を回すべきだと思う(政治家も入れてほしい)。（男性）
- ・経済的に余裕のある人が払うべきだと思うから。（男性）
- ・公共事業や社会サービスを削減してしまえば不況になってしまう消費税を増やせば低所得者の負担が大きくなってしまふ。企業からの税収方法を改めることで歳入を増やすのが1番世間に影響が少ないはず。（男性）
- ・国民への税を増やすのは格差拡大が広がるだけだし、お金を沢山持っている企業が負担すべきだと思う。（女性）
- ・歳出を減らしてしまうと経済が上手く回らなくなってしまふ。（男性）
- ・社会的サービスや公共事業への歳出は高齢化社会において削ってはならないと思う、消費税は大分あげているからこれ以上あげると財政が回らなくなる恐れがあるから。（女性）
- ・大企業とかのお金持ちの人達に更に増税をしても、低所得者よりもお金はもらっているはずだから。（女性）
- ・儲かっている企業には少しでも負担してもらうため。（女性）

「その他」自由回答抜粋

- ・その他回答：議員の報酬の削減
議員の働きに見合っていないような額が報酬として支払われているから。（男性）
- ・その他回答：歳出を増やし、経済を回して歳入を増やす。
歳出を減らしたり、増税をするだけではむしろ現状悪化するだけであるため。（男性）
- ・その他回答：増税した分の使用方法を明確にする。
増税してるわりに、国民にその税金の使用方法をはっきり伝えていないまだから。（女性）
- ・その他回答：金持ちの増税
貧乏人からとるのではなく、金持ちの増税や、議員や公務員などの給料をもっとさげるべきだともう。（男性）

【日本の財政を立て直すために求められる対策理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/